

● 読者からのお便り

拝復「成寿」第九号有難く拝受いたしました。

特に当号は武志老師がコレージュ・ド・フランスの学術的な国際会議で、御自身の体験を踏まえ、新世紀の仏教はいかにあるべきかを御呈示された意義深き内容が掲載され感銘を受けました。

また仏教研究及び仏教の今後のありようについては、過去及び現在の反省を踏まえ奈良教授が、広い他の学的関連領域とのかかわりから、展望しておられる点、多くの示唆を与えるものと想います。

四月には、タイ上座部の法式による得度式が、タイ仏教の大長老によつて執行されること、宗派仏教の弊風を打破し、仏教による国際交流と、仏教思想による、全地球、全人類の福祉と恒久平和の実現の可能性を示

すものとして誠に意義深く、この大行事を実現せしめる、大圓老師の熱意と仏教者としての無倦の御精進により結果せるものと貴山の益々の御発展と法体堅固を感じ上げます。

横浜市緑区 福田 孝雄

先般、歴史的にも永劫に記録されでありましょう有意義且つ厳肅な上座部得度式に隨喜させて頂き、小生にとつても生涯忘ることのできない感激で胸がいっぱいになりました。

黒田老師の燃えるが如き求道心と倦むことなき大衆教化の御淨行とが、日本国という狭き領域を超え、文化の相違や民族、言語などの障礙をも超克してグローバルに評価され、精神不在の日本の経済発展に一つの大きな精神的礎を構築するものとの期待で感慨無量なるものがあります。

比の度、態々中外日報掲載の得度式の詳報の記事を御恵送頂き、小生の

仕事を手伝ってくれている大学院生や台灣からの留学生達にも回覧し、その意義ある儀式について説明いたしました。老師の留学僧派遣の御事業は既に内外各方面から高い評価を得ておりますから、今更小生如きが縷々駄弁を弄すべきではありませんが今後益々充美しその実をあげられますよう衷心より祈念申し上げる次第でござります。

横浜市緑区福田 孝雄

桜が散り桃があたり一面を紅に色どり信州は今春酣です。

このたびの永平寺の參籠法要に際しかずかずの尊いご配慮を賜わり心から御礼申しあげます。

ありがとうございました。

生涯において二度とない好因縁を結ばせていただいたことを参加者一同心から感謝しています。黒田様のご配慮により法母庵友の会員が多数参

加させていただき、あのような厳かな法要に列席させていただいたことを、そして亡き奥田正造先生を心からお偲びできたことをこのうえもなに喜びと心から感謝申しあげます。

殊に私ども夫婦が破格のおもてなしを頂き先祖代々のご供養をいただいたことはもつたない有難いことございました。

この好因縁を基盤にいよいよ道のために精進いたす所存でござります。どうもありがとうございました。

長野県 田中 清

統が他宗よりも優れて居たと思います。寺は造らなくても、僧を造れば寺は建つのです。布教も、育つた僧が各自に布教するのです。ここに宗門の急所があると思います。宗門が宗門を超えて、自・他ともに育つて行くそういう意味でも、留学僧派遣育英会は素晴らしいと思います。同時にこの様なことをするということは宗門の中では、組織的にも伝統的にも心情的にもとてもむづかしいことでした。それをあえてするという勇気に敬意を表します。小生は小生者で実行力は全然ありませんが、本当に自分がしなければならない一番大事なこと、するべきであると思うことを勇気を持って実現して行きました。

過日は参上いたしまして、大変お世話になりました。

タイの得度式を勉強させていただけたとのことで、楽しみにしておりました。小生はタイ国の安居の経験がなく、とても興味深いものでした。特にお子さん達のタイ語による会話で式が進行し、四人のタイの言葉の何ともいわれぬハーモニーが耳の奥に残っています。土産の袋の中に解説のテキストが入ってまして、寺に帰つてから気がつきました。テキストを持って式に参列していたら、あとから気がつきました。

長時間四人のお子さんもよく頑張られまして、準備がさぞ大変だったのではないかと、非常に励ましと勇氣を与えてくれる思いがします。どうか今後

宗門が今日も一万五千ヶ寺とい得るほど盛大となつた、最も重要な点は、僧を生み出す能力があつたからであると日頃より思つております。宗門は僧を生み出す能力、組織、伝

ともよろしく、ご教示下さいます様お願致します。

神戸市 能勢 隆之

にあればだけの指導が小生に出来るかと云われますと自信がありません。

小生現在、全曹青の本部役員として出向しています。石附先輩が大OBになりますが、全曹青では同封のパンフレットの様に奈良で千僧法要を催します。全曹青は足腰の弱い団体ですので軌道に乗るまでは大変でした。何とか全国から千名の青年僧が結集する目鼻が付きました。この催しを後世に伝えたいとタイムカプセルの中にハガキを入れて、五十年後にお手もとへ返信させようという案があり、それが白いパンフレットです。是非お子様に、ご両親のメッセージを書いてあげて下さい。

私達は、子供や孫への心の中の種蒔きであると思っています。この費用はすでに入金してありますので、送金の必要はありません。ただ切手だけはお貼り下さい。青龍寺のお檀家にすすめましたら皆様に喜ばれまし

た。「夢」があつていいねとおっしゃいます。アパートに住んでいる人は、お寺付けに返信を書いておきます

と、子供の代に、その手紙を持つて年回供養に行くと話の輪が広まります。是非お子さん達にご両親の伝言をお書き下さい。

善光寺様に顔を出しますと、いつも勇気づけられます。 ireも何故だろうと思います。それは方丈様の慈であり、人を引きつける力であり、善光寺様のにぎわいであります。善光寺様の生きたお寺としての機能であろうと思います。

海外留学僧に勉強の機会をとの大きな希望の星が、益々光り輝くことを祈念しております。

翌日、タサハラ禪心寺まで行きました。もう、本当に昔のことになりました。手違いで御苦労をお掛け致し申しきりませんでした。

今後ともよろしくご指導を賜りますようお願いいたします。皆様のご健勝をお祈り申し上げます。合掌

拜啓、親愛なる武志老師。私はデビット・チャーリーです。覚えていらっしゃいますか。

二十年前にサンフランシスコ禅センターの学生でした。貴方とは、お兄さんの前角老師の禅堂でお会い致しました。随分前の事ですから、お忘れのことだと思いますが、御一緒に、ロスから、ビッグサーまでヒッチハイクをして、ピックサーゲ共に寒い夜を野宿して過ごしたことは想い出します。

あの時は、私の手違いで御苦労をお掛け致し申しきりませんでした。今は、片桐大恩老師が来て、詰めて居ります。私は片桐老師を訪ねて、

アメリカから出て来て、一ヶ月の予定で、聖護寺で修行しています。

そして、ここ聖護寺で瑞鷹寺僧堂から派遣されて居る、栃木県の西田正法さんに会い、武志老師の話しが出て、是非お会いしたいと思い、西田に代筆をしてもらつて居ます。

私の予定は、まだはつきりしていませんが、多分、今月末か六月初旬に東京の方に行くつもりです。御多忙中とは存じますが、お会いして頂けるでしょうか。御都合、御一報願いたく、お便り申し上げました。

デビット・チャリー

先日は、結婚式の際皆様からいろいろとお気づかいいただきましてありがとうございました。おかげさまで、引出物のお皿も好評のようでしたので、私もほつとしております。さて、このたび、御本を御送りいたしましたとして誠におりがとうございま

した。

武志様の御活躍の記事を読ませていだとき、私もより一層がんばらねば、と思いました。私の仕事も永遠に追究しつづけなければならないので、常に向上心を持ちつづけるのは、たいへんですが、がんばつていきたいと思います。

今後とも何かとお世話にあることがあると思いますが、よろしくお願ひ申しあげます。

加古川市 大島英一郎

比の度春号御恵送下さいまして有難うございました。

益々の御発展お目出度うございます。方丈様の「十五年の軌跡とその成果」を拝読し立派な人格と行動力には敬服致しました。そして海外留学僧派遺育英会の設立等で成果を上げられ

社会に貢献なされ慶賀に耐えません。又佐藤俊明老師の「お不動様のお話」

は感銘深く読ませて頂きました。今後何回も熟読させて頂き精進させて頂きります。本当に有難うございました。

貴山成寿の益々の御隆盛念じ上げます。

大阪府松原市 佐田 依枝

拝啓、厳しかった冬の怒りもようやく薄れています今日此の頃です。

大圓方丈様益々御清祥のことお慶び申し上げます。先日は、「成寿」第九号御恵送下さいまして厚くお礼申し上げます。

「新しい教化路線を求めて」を拝読させていただき大圓方丈様の十五年の軌跡とその成果は大変なことであつたでしょう。文章の中にその姿が滲み出ています。

大圓方丈様の人徳です。

小生も少しでも功徳をつみたいと思ひます。宗祖と釈尊は一体である。

すばらしい言葉です。

どうかお身体にご自愛して下さることを祈念すると共に山門の繁栄と「成寿」の益々の発展を信じ上げます。

東京都葛飾区 林 博明

只今は成寿第九巻御恵贈賜り有難く厚く御礼申します。毎回大圓老師御活躍の御様子にて御事業益々御发展あられ手によるごとく御分り致しまず様に思われます。これも我々衆生を満足の御気持との発露と存じます。

佐藤俊明老師の三歳の童児も又理解出来るような暖く深い御話をたのしみにて拝読させて頂きました。暖かく桜も咲く頃が近づきます。広く世界一丸輪の如く手をたづさえる時最高の理想の御事業の御發展心より御祈り申します。

井高 帰山

御変り御座いませんか、成寿春季号を有難う御座いました。イッキに読み益々御繁盛文化面への発展蔭ながら御悦論申し上げます。敢えて苦言雜言を申しますれば、先生はもう忘れてしまつたのでせうが松原泰道さんの著した小冊子を小学生買つていただき其の中に印度・セイロンビルマ、タイに伝はるパーリ語の佛教教典よりオトギ話の話が有りましたが観音様兄弟が補陀落山に流され（華嚴經）る話。方丈さんと一緒に居た當時より早や十余年経つた今でも忘れないではつきり記憶して居ります。非常に感銘を受け宗教の真ズイに触れた思ひでした。出来ますれば佛教発シヨウの地だから必ずオトギ話が沢山あるはず。是非貴重な紙面でせうが半頁位書いて書いて下さい

横浜市神奈川区 伏見 晴

成寿春号を御恵送下さいまして本当に有難う御座居ました。昨年十月再度の入院で近頃やうやく視力も回復して参りましたので、折を見ては拝読させて戴いて居ります。昨年は丁度、嫁、そして孫と一緒に四月八日にお邪魔させて戴き、釈迦堂にて「あま茶」をかけさせて戴き、又来年もと思って居りましたのに、残念です。でもきっと、再度の機会と心に念じつつ療養に専念して居りますので御安心下さい、少々では御座居ますが、御仏前にお供え下さればありがたいと思ひ、ゆり根を送ります。時節柄、御身お大切に、奥様にもよろしく申上げて下さいませ。

北海道亀田郡 西川 栄治